

【研究概要】

現在の歯を喪失する原因は、むし歯（う蝕）に関連するものが半数以上を占める。近年、進行の進んだ重度う蝕に対する治療である、歯の神経（歯髄）に対する治療には疑問が投げかけられており、喫緊に解決すべき課題として認識されている。そこで本研究は、これまでの研究成果から見出した、Bone morphogenic protein から、ペプチドアレイを用いて機能部位を同定し、BMP 由来機能ペプチドを応用した世界初の歯髄の創傷治癒機転に基づいたう蝕治療薬の開発を目的としている。